

## 紙で「飛ぶ」もの作りをつくろう

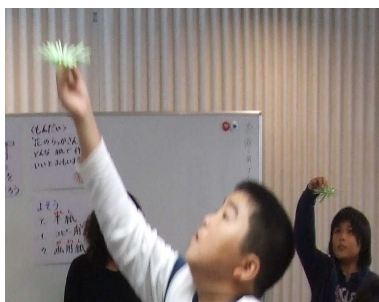
08.10.25

- \* コピー用紙や方眼ボール紙を使って、「飛ばし」ものを作りました。ゆっくりふんわり回ったり、くるっと向きを変えたり、いきおいよく回ったり、飛び上がったたり、大きな円をえがいてもどってきたり。まわりの空気をかんじて、何度も何度も飛ばしました。
- \* 「花びらのらっかさん」の作り方・あそび方\*



左の写真下、長方形(15センチ×7センチ)のコピー用紙を実線にそって谷折りし、5ミリ間隔の点線をていねいにはさみで切る。

谷折りした右はしと左はしをセロテープでとめる。わっかになるように丸みをつける。ほそながい花びらにあたる短ざくをまるく広げると、できあがり。



・高くもちあげ、手をはなすと、ゆっくり回りながら下りていきます。ほんとうに、花びらのらっかさんのようです。

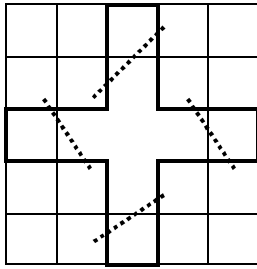
- \* 「着地ネコ」の作り方・あそび方\*



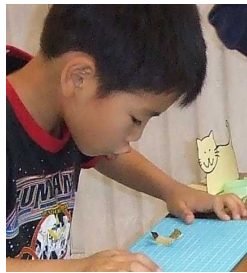
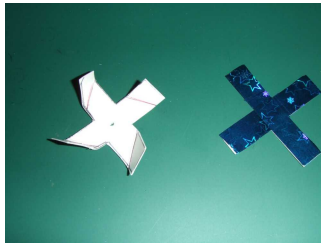
コピー用紙のネコの体の太線を切る。ネコの足のつけね?の点線を谷折りにする。左と右と交互に折り、足を広げてすわったようにする。できあがり。

・どんどころから、手をはなしておとしても、きちんと着地するよ! ... 3回に1回ぐらいは失敗するかもね。





方眼の工作用紙を5センチ×5センチに切りとる。  
 太線にそって切り、1センチ幅の十字にする。  
 十字の中に引いた斜めの点線にじょうぎをあて、谷折りにする。  
 まん中に千枚通しが「がびょう」であなをあけて、できあがり。  
 ア．できあがった風ごまを、平らなところへおく。まん中の  
 穴にむかって、口笛を吹くようなつもりで息をふきかけ  
 る。強く吹くとうきあがる。酸欠にならないようご注意。



かみ つくりかた と かた  
 ＊紙トンボの作り方・飛ばし方＊

方眼の工作用紙を2センチ×10センチに切りとる。四角にまるみをつける。

の紙のまん中に細いストローが通る穴をあける。

ストローの一方の先を1センチほどをたて、横と切っ  
 て、外側に十字の形に曲げる。

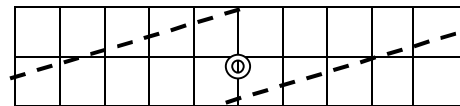
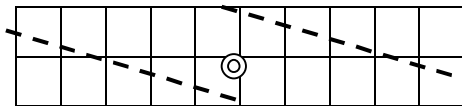
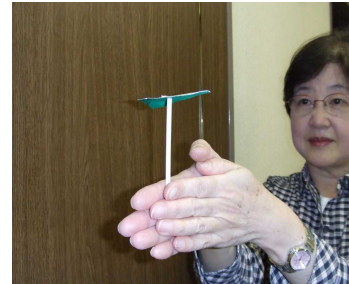
穴にストローを入れて、ストローの十字と紙をセロテ  
 ープではる。横から見ると紙とストローがTの形にな  
 るようにととのえる。できあがり。

紙トンボが上に前に飛ぶように、紙のはしをかるく折  
 る。

下の折り方を参考にしてね。

・左手を前にしてストローを回す時

・右手を前にしてストローを回す時

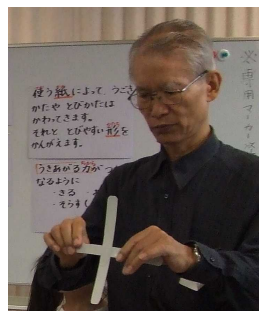


太い点線は上からみて、山折りにする。

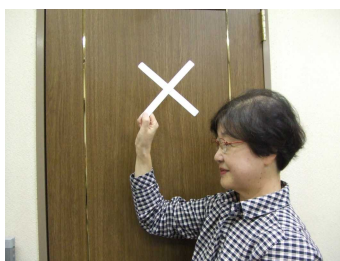
・ストローの下のほうを両手ではさみ、2～3回こするようにして、片手を前にすば  
 やく出すと、飛び出す。

つくりかた と かた  
 ＊十字ブーメランの作り方・飛ばし方＊

方眼の工作用紙から2センチ×22センチの細長方形を2本切りとる。  
 2本を十字にして、それぞれの羽が10センチになるように置く。セロテープやガムテープ、ボンド、ホッチキスなどではり合わせる。羽の先にまるみをつける。  
 よくとぶように羽の調整<sup>ちようせい</sup>をする。  
 ア．4枚の羽の両端を5mmくらい、下方向に軽く折りまげる。  
 イ．4枚の羽を全体にかかるく茶碗をふせたように反らす。



\* よく飛ばすには、投げ方にもコツがあります。  
 垂直に投げる。  
 手首のスナップを利かせて投げる。  
 上向きや下向きにならないよう、正面に向かって投げる。



\* うまく飛ばせるようになると、ブーメランはなにものにもぶつかなければ、もどってきて、両手でうけとめることもできます。

**参照と引用:**            は「ものづくりハンドブック2」仮説社(1990)  
                               は「RikaTan」2007.9月号(星の環会)  
                               のブーメランの調整・飛ばし方は  
                               HP『おもしろ科学工房』「ブーメランを作ろう」08.9.20  
                               (<http://www.omosirokagaku.sakura.ne.jp/>)

